

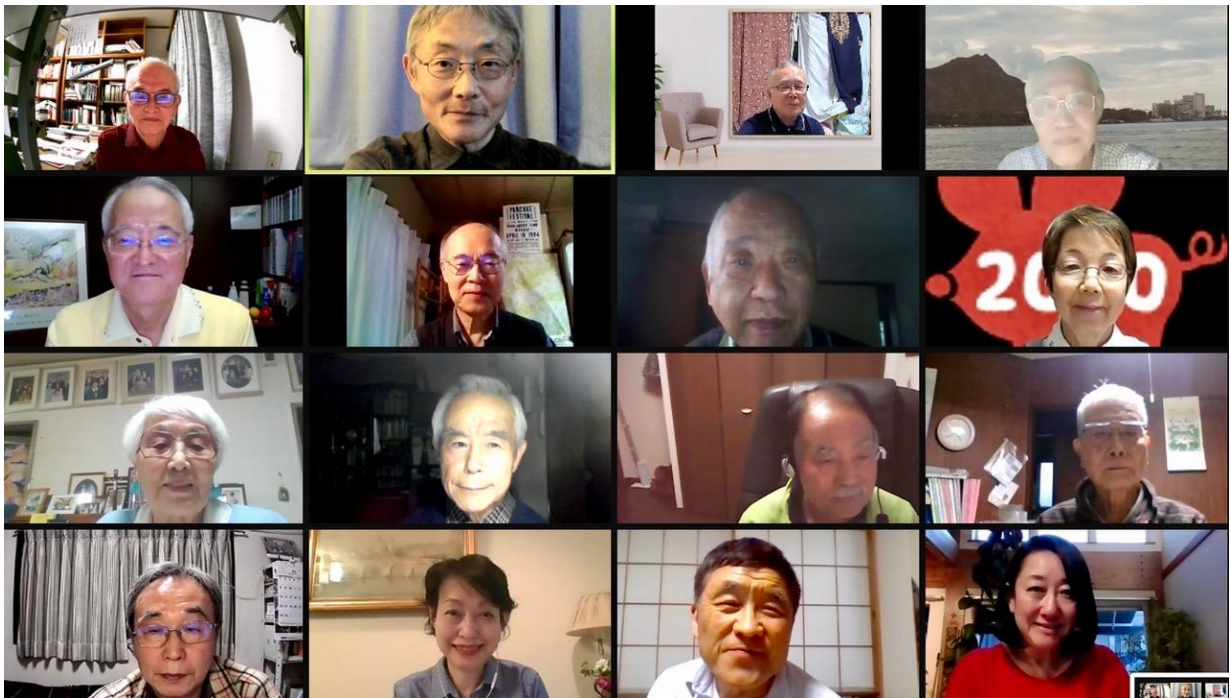
## JLC 第 80 回研究発表会

2020 年 11 月 21 日 (土) 14:00-16:30

オンライン会議方式

# 米国におけるロータリアン体験

棚橋 征一



写真撮影：小澤正樹

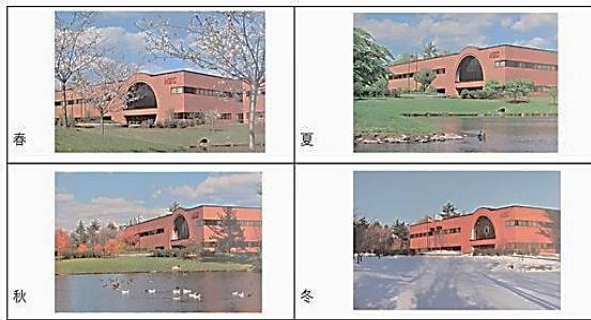
これまでの例会発表は英語のジョークに類するテーマの講話が多かったのに対して、本日の話は畑違いになってしまいすみません。今から 30 年ほど前 (1991 年の夏から 3 年間)、勤務先の NEC の米国子会社へ出向することとなり、家族と一緒にマサチューセッツ州ボストンの郊外で生活しました。その際、以前から関心のあった米国社会の草の根ボランティア活動を体験したくて、現地のロータリークラブ(以下 RC と略す)に入会して

種々活動したので、その時の概要を簡単に紹介いたします。

### Part I. NEC のボストン子会社のこと

この会社 (NEC Systems Laboratory, Inc.) は 1972 年に設立され、当初は NEC にとってメインフレーム・コンピュータ技術の導入先であった Honeywell 社 (関係部門がボストンに所在) との交流拠点として活躍していました。私が出向した

## NECSYLの社屋と四季の景観



時点では、米国のコンピュータ市場の動向調査が主務となっており、これに加えてMIT（特にメディア研究所）や Harvard など地元大学との Academia Relations、日本から来訪する関係官庁、ユーザー会等のお客様への接遇なども担当しました。

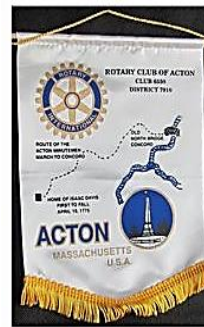
地元 Acton の秋の風景  
New Englandの紅葉は有名で全米から観光客がやって来る



米国の東北部は New England と称され、秋の紅葉が有名です。この季節、他州から大勢の観光客がやってくるためホテル予約も困難となります。自宅周辺のファームにはきれいに色づいた大小沢山の Pumpkins が山積みとなり、米国市民の生活が Halloween～Thanksgiving～Xmas へと、浮足立ってくるのが感じられました。

## Part II. Acton RC への入会と活動

ボストン郊外の Boxborough に在った上記子会社に着任後、自宅のある隣町 Acton の RC と Lions Club の例会を参観させてもらいました。その際、前者の幹事のひとり Bob Erickson 氏（公認会計士）が大変親切に活動内容を説明して入会を勧めてくれたので、こちらへ入ることに決めました。



Acton RC のバナー



公認会計士の Bob Erickson と

RC は 1905 年、シカゴで弁護士をしていた Paul Harris(当時 37 才)によって創設されました。Rotary という名称は、コミュニティへの奉仕を志した彼と仲間の会合が、順番に自宅で開催されたことに由来します。ちなみに Lions (Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety の頭文字の合成語) Club も同じシカゴで 1917 年に創設されています。

## Rotary Club の創設・精神



創設時の RC には、“Service above self”および “He profits most who serves best”の2つのモットーがありました。その後、Herbert Taylor というロータリアンが考案した“The Four Way Test”も共有される行動指針となっています。ロータリアンは全世界で約 122 万人おり（日本は約 8.9 万人）、このうち 1989 年から入会が認められた女性は 22%を占めています。著名なロータリアンとしては米国の JFK、カーター、マッカーサー、ニール・アームストロング、英国のチャーチル、サッチャー、エジンバラ公などが知られています。

RC は国際ロータリーとロータリー財団との三  
We, Jokers No. 80, December 10, 2020



位一体で運営されています。RC が創立 80 周年を迎えた 1985 年、国際ロータリーが「ポリオ・プラス計画」を発表し、全世界からポリオを撲滅することが共通のテーマとなりました。IT 長者として著名な Bill Gates の財団はこの活動に賛同して、RC に多大な寄付をしています。

Think Globally, Act Locallyを目指すロータリークラブ

ロータリークラブは、クラブ、国際ロータリー、ロータリー財団の3本の柱で支えられています。これらが一体となって、世界中の地域社会に持続可能な変化を生み出しています。



ロータリークラブ      国際ロータリー      ロータリー財団

Acton RC はその後、一度枝分かれした Boxborough RC を合併して Acton-Boxborough RC と改称していますが、会員数は 40 名程度で小規模のままです。元々、RC はビジネスパーソンの集まりなので、会員の仕事は製造業、不動産、保険、会計士、弁護士、旅行業、建設業など多彩です。会の組織としては、会員開発、広報、会報、奨学金、国際、プロジェクト等の委員会がありました。「Sergeant at Arms」という聞きなれない部署もあり、これは集会の運営を混乱なく円滑に進めるための「運営部長」といった役目と知りました。また、次期会長が内定している場合、これを Next President とは言わず、President-Elect と表現する習慣も知りました。

Acton Rotary Clubの創設は1962年



Rotary Internationalからの創設50周年表彰状      地元ホテルにおける祝賀会(2012年)

ARCの例会(その1)



- 開催は原則として週1回(昼食時)(欠席した場合、出張先の地元RCに出席するなどして出席ノルマを果たす)
- 場所: 地元のレストラン (Scupper Jack's)
- 始めに全員で起立して合唱する(着席後、食食・歓談)
- MCが他地区からの来客を紹介(バナーの交換を行う)し、当日の講師がいる場合は紹介
- 各委員会からの随時報告
- 講師のスピーチ(7910地区の役員、市議会議員、外国からの留学生、その他)
- 受付で買った Raffle (富くじ) の発表

ARCの例会(その2)  
インドからの出張者2名がMakeup参加



会長から2名のゲストを紹介      インドの2つのRCとバナーの交換

ARCの例会(その3)  
国際委員会 Vice Chairとして招待した講師の例



Rotary Scholarshipでポストン大学へ留学中の日本の学生2名に異文化体験を話してもらおう。      ポストン・京都姉妹都市協会の会長に永年の交流実績を話してもらおう。

RC の例会は毎週決まった曜日のお昼に開催されることが多く、出欠に厳しいことで知られています。実際これに嫌気して Lions Club へ転向するひともいました。出張などで欠席する場合も、その Make up として、旅行先の地元 RC の例会に参加して補填することが求められます。そうした場合には、帰属する RC のバナーを持参し、先方の RC と交換するのが慣習となっています。

Acton RC の例会は地元のレストランで毎水曜日お昼に開催されましたが、開始前に全員起立して「God Bless America ♪」を合唱していました。MC が他地区からの来客を紹介し、バナー交換が終わると、食事をとりながら各委員会からの随時報告を聴くことになります。また、ゲストを招い

ている場合は、ここでスピーチをしてもらいます。私は国際委員会の副委員長として、ボストン大学ヘロータリー奨学金で留学していた日本の学生や、ボストン・京都姉妹都市協会の会長などを招いて、講話をお願いしました。

以下に Acton RC が実施していた主要なコミュニティ活動と Fundraiser 活動を紹介します：

ARCの主要なコミュニティ活動  
(1) DARE 麻薬撃退プログラム (その1)



(1) DARE (Drug Abuse Resistance Education)  
麻薬撃退プログラム

DARE 麻薬撃退プログラム (その2)



(NY州Chatham市のMary E. Dardess小学校のWebsiteより)

DARE 麻薬撃退プログラム(その3)



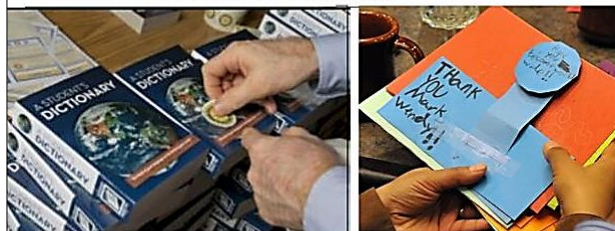
Acton RC は地元の警察と連携して、小学校から高校までの学生を対象に、麻薬の違法性、危険性を説く活動を継続しています。小学校で実施した時に同席した時のこと、生徒達が壇上に現れて

寸劇を始め、麻薬を売りつけようとする悪い子 (Drug pusher と呼ばれる) からの誘いに対して、事前に教えられたとおり「Just Say NO!」の態度でこれを拒否する対応を実演していました。米国では小学校のうちから DARE が必要なほど根が深い問題なのだと気づきました。

(2) 小学3年生に辞書を贈呈

ARCの主要なコミュニティ活動

(2) 小学3年生に辞書を贈呈



地元の小学校と連携、3年生に英語辞書を贈呈

Acton には公立の小学校が4校ありましたが、教育面の支援に関心のある RC と先生方との協議の結果、より広いポキャブラリーの理解が必要となってくる3年生に英語辞書を贈呈するプログラムが始まりました。生徒たちから手書きの Thank you messages を受け取るのは嬉しいものでした。いまはタブレットの時代なので、どうなったでしょう。

(3-1) Reality Fair : 高校生向けの予算管理体験

ARCの主要なコミュニティ活動

(3) Reality Fair : 高校生向け予算管理体験 (その1)



地元高校の体育館を使って開催

地元の Acton-Boxborough Reginal High School の先生方と協議のうえ、広い体育館を使って、消 We, Jokers No. 80, December 10, 2020



費者がカネを落とす各種模擬店（逆に買ってもらう店もある）のデスクを並べ、ここへ高校生たちを招き入れて、与えられた予算内でうまく収支を管理することの大切さを学んでもらうプログラム。この高校の場合、卒業すると親元を離れて他州の大学へ進む学生が多く、自活の経済的ハウツーに目覚めてもらうことを意図している。



(3-2) RYLA: 高校生の自主的コミュニティ活動支援



RYLA (ライラ: Rotary Youth Leadership Award) は、Acton RC が所属する 7910 地区の共通活動。地元のコミュニティにおいて施設の改修・新設、生活面のルールの新設・改廃、人的な救援など、様々な社会的不便や要改善点に気づいた学生達がリーダーシップを発揮してそれに取り組むのを資金面で支援するプログラム。

(4) Nursing Home への慰問

RC の仲間と一緒に実施した活動の中で一番楽しく、今も心に残っているのが Xmas の時期に地



元のシニア介護施設 Suburban Manor を訪問して、プレゼントを贈って喜んで頂いたプログラムです。事前に事務局のかたにシニア各人(計 50 名ほど)が希望している品を教えてください、当日は 2 グループに分かれてサンタに扮した仲間と一緒に各部屋を回ります。車イスのひとも、ベッドに寝ているひとも、プレゼントを受け取った時にみせる笑顔が忘れられません。この後、近くのレストランで打ち上げをやるのですが、皆、ロータリーのモットーを実感できた気分で盛り上がりました。

(5) Veterans' Day Breakfast への招待



米国では毎年 11 月に「復員軍人の日」があります。Acton RC では地元の Veterans を高校の食

堂へ招いて、朝食と歓談を楽しんでもらっています。仲間は早起きして、食堂で調理したり、テーブルへ運んだりしてボランティア精神を発揮します。この日、市内の広い共同墓地まで高校のマーチングバンドが演奏して回り、その後、市民が参集している墓地で礼砲が鳴らされます。戦勝国の社会では Veterans が表敬されるのに対し、日本では、と複雑な気持ちになりました。

(6) 高校生対象の Youth Exchange Program



RC では高校生の国際相互派遣を継続しています。例えば Acton から RC 留学資金を得た高校生がベルギーへ派遣されて、一定期間、現地ロータリアンのお宅でホームステイしながら地元の高校に通学させてもらうと、翌年にはベルギーの高校生が Acton へやってくるという具合です。期間は1年間の場合、夏休みの間だけ等、ケースバイケースでした。また、長期の場合、ホストファミリーが複数で分担することもあります。私の Acton 滞在中にはフランス、デンマーク、イタリアから女子高校生がやってきました。若くて多感な時期の異文化体験は貴重な財産になると思います。

Fundraiser 活動 :

(1) チャリティ・ゴルフ

毎年秋に地元の企業 30 社(数名の個人を含む)ほどから協賛を得て、チャリティ・ゴルフを開催



しています。この協賛を取り付けるのに活躍した会員は例会において表彰されます。

私が着任後すぐに車を購入した中古車ディーラーの Christmas Motors や、家族でよく買い物に行った品揃え豊富な野菜果物ファーム Idylwilde Farms などは毎年支援してくれました。NEC 子会社も協賛しています。

(2) Chicken BBQ、アップルパイ販売など



毎年春に開催する食券前売り制の Chicken BBQ や秋に実施するアップルパイ販売も年中行事の例です。前者は地元の高校の食堂で実施しており、当日、男性会員は校庭の片隅で大型のグリルを使って大量のチキンを焼きます。普段、厨房に入らない私もこんな時ばかりは男性仲間と一緒に秘伝のタレをかけつつ、調理を手伝いました。秋のアップルパイ販売は Veterans' Day Breakfast と連携していたと記憶しますが、市民が共同墓地から帰る道すがらにテーブルを出して、女性メンバー等が手作りしたパイを販売していました。



## Paul Harris Fellow の認定



永年 RC メンバーとして活動し、その間、継続的に寄付を行ってきた会員には、累積額が一定の規準に達すると、RC 創始者 Paul Harris の名前を冠した Fellow の資格が授与され、各 RC で会長から該当会員へ認定証とバッジが贈られます。日本ではこれに加えて、1920 年に日本で最初に創設された東京ロータリークラブの会長・米山梅吉の名を冠した米山フェローも設けられています。

## 地区 7910 の年次大会



Acton RC が所属するマサチューセッツ州中央部の District 7910 には計 49 のクラブが入っています。毎年秋に区内の適地にあるホテルで地区大会が開催され、ゲスト (Apollo 11 の宇宙飛行士など) の講演や他の RC 会員との交流を楽しみました。Day 1 の晩にはエンタメやダンスの時間が設けられており、かつて日本でも人気を博した The Brothers Four の演奏を聴いたり、後にも先にも、この時だけタキシードを着て家内とダンスしたのがいい思い出になっています。

## Part III ロータリー活動体験の感想

・ RC に入会して真っ先に気づいたことは、現地子会社内で米国人の部下や秘書たちと話す時の英語のスピードに比べて、RC 仲間で交わされる会話のスピードがずっと速いという事実でした。そうか、社内では日本人が苦労しないようにスピードに配慮していたんだ、と納得しました。

・ RC 活動を通じて地元コミュニティの米国人の気質に触れましたが、ひとつは「自分たちで出来ることは Sleeves Up! で協力してやる」という精神です。逆に言うと、「税金を納めて、あとは何でも行政にやってもらう」方式が嫌いようです。税金に関して我々よりはずっと敏感で、節税観念が進んでおり、着任して以降、何度も日本の税率について質問を受けました。もらったレシートの数字をしっかりと確認する態度も通底しているかもしれません。

・ 米国では行政の手が及ばない部分を、各種の NPO 団体、教会などが補っているという図式がよく語られます。RC 創設時のモットーや、地元仲間の行いからも「もてる者は社会へ Give Back すべし」という精神を感じました。当時、自宅へ各種の団体から寄付を募る郵便物が多数送られてきましたが、そういう勧誘を専門にやる業界ができあがっていると聞きました。

・ 子供の時から「Healthy Self Esteem」を持たせるのが米国流。TV や映画を観ていても、自信に溢れてにこやかにしているのがよきアメリカ人像らしいと感じます。子供が通っていた学校の学芸会で合唱、合奏が演じられた時のこと、正直言って日本的に全員が整然と揃っている印象を受けなかったのですが、終わった途端、観客が総立ちになって Standing Ovation! 慌ててこちらも立ち上がって拍手喝采に加わりました。ああ、これが「ほめて伸ばす」文化なんだ、と感じた次第

です。

・RC 会員になっていた 3 年間、出張や家族との旅行などで日本や英仏加豪墨へ出かけるため、例会に出席できないことが何度かありました。そんな場合でも、国際ロータリーが発行している「世界の RC ディレクトリー」を見ると、いつ、どこで地元の例会が開催されるのかが判ります。その情報を頼りに参加してみると、いつでも遠来の RC 仲間として大歓迎してくれて、記念となるバナー交換もできました。ロータリアンであることは「もうひとつのパスポート」をもつことと、実感しました。

・世界中の RC を統括する国際ロータリーでは毎年、会長が替わります。その都度、新会長は会員に呼び掛けるスローガンを発表します。そうしたスローガンの中で特に印象に残っているのは、1993 年に就任した Barth 会長の掲げた次の文言です：

Do what you believe in, Believe in what you do.  
やると決めたら自信をもってやり抜きなさい、  
という背中を押すいい言葉だなと感じています。

#### 出席者一覧 (敬称略)

豊田一男	小澤正樹	佐川光徳	安藤雅彦
中嶋秀隆	棚橋征一	岡田茂富	大野和子
長谷川真弓	岡本真弘人	相原悦夫	坂井孝彦
土屋政雄	今井真由美	大谷秀之	村井久美子

#### WE, JOKERS 第 80 号

英語のジョークを楽しむ会 (Joke-Loving Club) 会報

発行日：2020 年 12 月 10 日

発行人：世話人代表 豊田一男

編集人：佐川光徳

発行元：英語のジョークを楽しむ会

問合せ先：[englishjokers@yahoo.co.jp](mailto:englishjokers@yahoo.co.jp)

## JLC

### 2021 年新年会+第 81 回研究発表会のご案内

[オンライン会議方式]

開催日：2021 年 1 月 16 日 (土) 14:00—17:00

(事前に運営委員会を開催 13:00-30)

方 式：ZOOM によるオンライン会議方式

(招待者=中嶋秀隆会員)

#### 開会 14:00

総合司会=中嶋秀隆会員

#### 1. 新年のごあいさつ・オンライン乾杯

豊田一男代表

#### 2. 2020 年年間功労者表彰式

MC：安藤雅彦会員

#### 休憩

#### 3. 初笑いショート・スピーチ

参加者全員 MC：佐川光徳会員

■ハンドアウトをお使いになる方は事前に用意され、当日はご自分で ZOOM の「画面共有」で提示してください。「画面共有」に慣れておられない方は、事前に練習することができますので、下記宛お申込みください。

あるいは、あらかじめ下記へお送り頂ければ、当方で操作いたします。

#### 自由解散

●参加費：無料

●参加申込：ZOOM 会議へのご招待メールをお送りしなければなりませんので、参加ご希望の方は、2021 年 1 月 11 日 (月・成人の日) までに、下記宛お申込みください。

●申し込み先：[englishjokers@yahoo.co.jp](mailto:englishjokers@yahoo.co.jp)